

白山ろくの「出作り」について



白山は、古くから山の神様、田んぼの神様、航海の神様として、私たちにたくさんの恵みを与えてくれるありがたいお山、として大切にされてきました。

白山ろくは日本有数の豪雪地帯ですが、多様な動植物と豊かな水源に恵まれています。この厳しくも豊かな自然環境を利用し、人々は自給自足の「出作り」生活をしてきました。そして特有の歴史、文化を育んできました。

出作り生活とは、集落から離れた山の中に畑を切り開き、自分たちの住む家を自分たちで建て、作物を作りながら暮らすことをいいます。これは、集落に平地が少なく、家の近くで農業をするのには狭いためです。白山ろくの出作りには、主に「焼畑」という農業と、養蚕(カイコを育て繭を生産)及び製炭(炭づくり)の二つの仕事がありました。

白山ろく民俗資料館では、この白山ろく地域の山の文化を紹介しています。この追跡ハイクで厳しい自然と共に心豊かに生きてきた先人の知恵と文化に触れ、その暮らしに思いを馳せてみましょう。

※答えは複数の場合もあります。



本館展示室(ほんかんでんじつ)



1? 男性がかついでいるのはセイタ(背板)といいます。重い物がかついで運ぶための道具です。最高どのくらいの荷物がかついだのでしょう。

- ア. 20kg イ. 50kg ウ. 100kg エ. 150kg

2? 報恩講料理のおわんの中には5合のご飯が入っています。ごはん茶わんに移し替えると何ぱい分になるでしょう。

- ア. 1ぱい イ. 3ぱい
ウ. 5ぱい エ. 10ぱい



杉原家(すぎはらけ)

3? これはヒノシというものです。何をする時に使ったのでしょう。

- ア. 囲炉裏の灰を混ぜる時 イ. お湯をすくう時
ウ. 焼き栗を作る時 エ. 衣服のしわを伸ばす時(今のアイロン)



4? 本館や杉原家の2階に右のようなシブタというドーナツ形をした道具があります。これは、冬に、雪の上である動物をつかまえるのに使いました。その動物とは何でしょう。

- ア. イタチ イ. クマ ウ. ウサギ エ. イノシシ



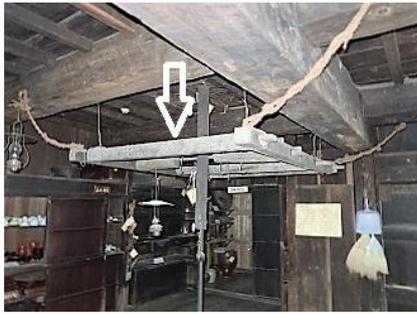
織田家(おだけ)

5? 織田家は今のコンビニのように何でも売っているお店で多くの食品を売っていました。その中にはこの家で作った食品もありました。流し(台所)の道具を見て、この家で作って売っていたものを右から選びましょう。

- ア. とうふ イ. もち
ウ. 酒 エ. みそ



長坂家(ながさかけ)



6

いろいろ
囲炉裏の上につるしてあるのは、ヒアマ(火天)と言います。何に使ったのでしょうか。

- ア. 洗濯物を乾かす
- イ. 干しイモを作る
- ウ. 山菜を干す
- エ. 冬に濡れたハキモノを乾かす



小倉家(こぐらけ)

7

これは小便用のトイレです。大使用のトイレはどこにあったのでしょうか。

- ア. 外
- イ. 隣の家に借りに行った
- ウ. この家の別の場所にある



表家(おもてけ)

8

この家の入口の2階には半鐘が下がっています。どのようなときに鳴らしたのでしょうか。

- ア. 火事するとき
- イ. お寺のようにおまいりするとき
- ウ. クマやサルを追い払うとき



尾田家(びたけ)

9

玄関の横に小さなあながあります。これは何のために作ったあなでしょうか。

- ア. 風通しを良くするため
- イ. ねこの通り道
- ウ. 玄関に来たお客様を見るため
- エ. 郵便ポスト



10

この穴は何のための物でしょうか。

- ア. 中でニワトリを飼っていた
- イ. 中でブタを飼っていた
- ウ. 水を入れて鯉を飼っていた
- エ. 冬に食べる野菜を入れておいた





山村の生活と知恵

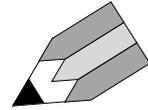
班

名前

～～ 解答用紙 ～～

Ver2019.04.01

正しい答えを○でかこみましょう。 ○はひとつだけとは限りません。



1	ア	イ	ウ	エ
2	ア	イ	ウ	エ
3	ア	イ	ウ	エ
4	ア	イ	ウ	エ
5	ア	イ	ウ	エ
6	ア	イ	ウ	エ
7	ア	イ	ウ	
8	ア	イ	ウ	
9	ア	イ	ウ	エ
10	ア	イ	ウ	エ

《 民俗資料館の地図 》

